

人と人とのコミュニケーション支援システムの研究開発と評価

研究の概要

パソコンに加えて、スマートフォンやタブレット端末などのモバイル端末の急速な普及により、多様な環境において、人と人とのコミュニケーションが可能となりつつあります。しかし、最適なコミュニケーションのためのシステムをすぐに構築することは容易ではありません。私たちの研究グループでは、現場のニーズを取り込み、最新の情報技術を用いた新しい人と人とのコミュニケーション支援システムの研究開発と評価を行っています。実用化を目指して支援システムの開発を行っているため、実際の現場で利用しながら、プロトタイプシステムの検討が行えます。

研究の特徴

私たちの研究グループの研究は、多様な環境における様々なコミュニケーション支援システムを構築することです。これまでも、多数のグループと組んで、様々なコミュニケーション支援システムを構築してきました。図1は、ネットワークがないときでも、直前までの最新情報を利用可能な災害時支援システムです。図2は、病院内の外国人との対話を支援するシステムで、正確な翻訳を利用可能です。図3は、高齢者にも使い易い栄養指導支援システムで、多様な料理の入力が可能な仕組みを備えています。私たちは、現場で発生する様々な問題を、情報技術を使って解決することを目指しています。



図1 オフライン時にも利用可能な災害時支援システム



図2 多言語医療対話支援システム

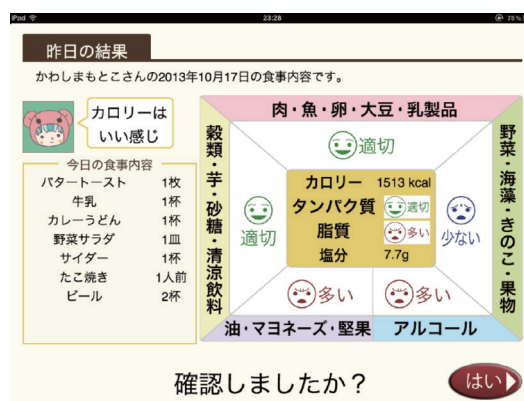


図3 高齢者向け栄養指導支援システム

実用化が想定される分野

医療分野, 行政分野, 観光分野, 教育分野

研究者からのメッセージ

様々なコミュニケーション支援システムの実用化を目指しています。これまでのコミュニケーションや情報共有の問題を解決するために、新しい支援システムの開発と一緒に取り組んでいきませんか？

[研究紹介ホームページ] <https://web.wakayama-u.ac.jp/~yoshino/lab/>

研究分野 : コミュニケーション支援, 情報共有

研究者の所属部局・職位・氏名 : 和歌山大学システム工学部 社会情報学メジャー・教授・吉野孝

本件に関するお問い合わせ : liaison@ml.wakayama-u.ac.jp